

野尻湖と信濃エリア

信濃町の近くにあるあまとみトレイルは、黒姫山と妙高山の間を蛇行し、野尻湖のほとりを辿り、斑尾山に緩やかに登っていく。山頂からはこのコースを振り返ることができる。

野尻湖は、約 7 万年前に黒姫山の一部分が崩壊し、川が堰き止められてできたと考えられている。この湖は歴史的に重要な農業用水源であり、トレイルの一部は 1670 年にこの目的のために建設された水路に沿っている。そのすぐ先には、湖の西岸から発掘された化石を展示する野尻湖ナウマンゾウ博物館がある。トレイルはその後、4 万年前の化石が発見され続けている発掘現場のそばを通る。

トレイルが海岸線に沿って南下すると、国際村とも呼ばれる野尻湖協会の会員が所有する 250 あまりの別荘地を通り過ぎる。同協会は、1920 年代に保養のためにこの地を訪れた外国人宣教師たちによって設立された。今でもウォータースポーツや気軽なレストランで人気のスポットだ。トレイルは、湖のジグザグの湖岸線を見下ろす森の中の象の道へと続く。この名前は、この地域の古生物学的発見にちなんでいる。

あまとみトレイルの最東端は、歴史的な交易路である飯山街道に沿って斑尾山の麓まで続く。あまとみトレイルは斑尾山の頂上で終了し、そこからもうひとつのロングトレイル、信越トレイルが続く。斑尾山からトレイルをスタートすることもできる。